

1 単元名 Lesson 3 Kawaii Culture / All Aboard Communication English I (東京書籍)

2 単元の目標

- 週末の予定について、積極的に対話しようとしている。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 週末の予定やアニメキャラクターなどのコスチュームについて、考えを尋ねたり、答えたりすることができる。  
(外国語表現の能力)
- 英語を読んで、日本の Kawaii Culture に対する海外の人々の思いを理解することができる。  
(外国語理解の能力)
- will などの助動詞の意味や用法を理解する。また、be going to などの連語との違いを理解する。  
(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

基本的な助動詞を理解・活用できるようになることで、表現の幅を広げることができる。「will」とあわせて「be going to」の表現も学習し、未来や予定についても表現できるようにするとともに、2つの表現の違いを理解する。

(2) 生徒の実態

英語に苦手意識を持つ生徒が多く、中学での既習内容が定着していない生徒もいる。主体的な課題を課すと消極的な反応を示す生徒も多いが、使用する表現や文法などの具体的な目標が明確になれば意欲的に取り組むことができる。そのため、ターゲットの英文を限定したり、使用可能な表現の例や使い方の例を明示したりしている。さらに、生徒が主体的に発表・活動する機会を多く設け、英語を使用することへの積極性を引き出せる授業展開を心がける必要がある。

(3) 指導観

音読活動を繰り返し行い、助動詞含む英文の音声に慣れさせるとともに、助動詞の持つ基本的な意味や用法についての導入を図りたい。音読活動では、習熟度の違いを考慮してワークシートは2つのレベル(ルビなしとルビ付き)を用意し、全員が活発に活動できるようにする。練習問題への取り組みを通して、それぞれの助動詞を活用できる力を育てていく。その後、助動詞を用いた会話練習や英作文を実施し、助動詞を用いた表現の定着を図る。「will」と「be going to」との違い理解することにより、communication 活動を活発に行えるようにしていく。

#### 4 指導と評価計画(5時間扱い)

時間	学習内容	関心	表現	理解	知識	評価規準(目標)
1	導入 新出単語の確認				○	・新出単語の意味や発音を理解している。
2	本文の内容確認			○		・日本の Kawaii Culture に対する海外の人々の思いを理解することができる
3	本文の内容の復習 助動詞の意味の確認・練習				○	・助動詞の意味や用法を理解している。また、・be going to などの連語との違いを理解している。
4 (本時)	助動詞の意味の復習・会話練習	○	○			・週末の予定について、積極的に対話しようとしている。 ・「be going to」を用いて週末の予定を尋ねたり、答えたりすることができる。
5	本文で学習した表現の復習・まとめ		○	○		・助動詞を用いた英文を理解・表現することができる。

#### 5 本時の学習

##### (1) 目標

- 週末の予定について、積極的に対話しようとしている。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 「be going to」を用いて週末の予定を尋ねたり、答えたりすることができる。  
(外国語表現の能力)

##### (2) 展開

	生徒の活動	時間	教員の準備
導入	◆Warm up 「6Questions」 天気や日時などに関する質問に答えたり、教員に日常的な事柄に関して質問したりする。	10分	・元気に挨拶をし、日常に関する質問をしたり、生徒の質問に答え足りすることで、英語学習の雰囲気を作る。 ・質問に答えたり、質問したりした生徒を褒めたりして、授業に参加しやすい雰囲気作りを心がける。
展開 1	◆本文の音読練習をする。 (1)意味のまとまりごとに音読する。  (2)助動詞を隠した穴あきのスライドを見ながら、音読する。	5分	・本文をプロジェクターで投影する。 ・スクリーンの文字を指し示しながら、意味の区切りごとに音読する。 ・発音の難しい語句は繰り返し練習する。 ・全員が参加するように促し、口が動いていることを確認する。 ・スクリーン上の本文の文字を指し示す。 ・穴あきの部分を埋めながら読み終えたら、穴あきだった部分を映し出し、抜けていた

	(3)本文を意味のまとまりごとや文ごとに音読する。		<p>単語を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を再度，音読する。</li> </ul>
展開 2	<p>◆P31 の教科書の練習問題をノートに書き写し，解く。</p> <p>板書された解答を確認する。</p>	15 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に問題文を板書する。</li> <li>・机間指導をしながら，生徒の解答状況を見て，助動詞の意味を確認する。</li> <li>・ペアで答え合わせをし，教え合う。</li> <li>・生徒に解答を発表してもらい，なぜその答えになったのか，理由を尋ねる。</li> </ul>
展開 3	<p>◆Conversation practice</p> <p>【ワークシート（2レベル）】</p> <p>(1)例文の音読練習をする。</p> <p>(2)“Useful words”の欄に載っている語句の読み練習をする。</p> <p>(3)“Useful words”を例文に当てはめて音読練習をする。</p> <p>(4)ペアを探して，実際に会話練習をする。</p> <p>(5) ペアで発表する。</p>	15 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A面(ルビなし)とB面(ルビ付き)から自分の取り組みやすい方を使用するように伝える。</li> <li>・例文を日本語→英語の順で読む。生徒の音声に合わせて，発音の難しい箇所は繰り返し読む。</li> <li>・“Useful words”の語句を例文に当てはめて読む。</li> <li>・つまずいている生徒に声をかけて，発音の支援をする。</li> <li>・会話練習をする目安の時間を伝える。</li> <li>・“Useful words”以外に知ってる表現を積極的に使用するように促す。</li> <li>・会話練習終了後，ペアで発表の時間を取ることを伝える。</li> </ul>
まとめ	<p>◆Conversation practice の練習の成果をペアで発表し，共有する。</p> <p>◆ワークシートを提出する。</p>	5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表する生徒を募る。</li> <li>・発表に対してコメントをする。</li> </ul>